

SONEKIN

曾根金属工業株式会社



苅田工場

○本社所在地：福岡県北九州市小倉南区

葛原東4丁目4番5号

○事業概要：鉄スクラップ加工処理業

○常時使用する従業員：28名（2025年6月時点）

○現在の売上高：99億円（2024年6月期）

○法人番号：5290801002120

○Web：http://sonekin.co.jp/

曾根金属工業株式会社（鉄鋼業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
山田 大奇

脱炭素を追い風に！鉄の再生から、地域と産業の未来をつくる。

私たちは、かつて“鉄のまち”と呼ばれた北九州で、鉄スクラップの高品位リサイクルによって、地域と産業の再生に挑戦します。国内高炉メーカーが電炉化に向かう中、苅田港を活かした「鉄の再生ハブポート」を構築し、日本の脱炭素社会・サーキュラーエコノミーの中核を担う存在へ。曾根金属工業は、循環と革新の交差点としての北九州の未来の実現を目指し続けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年の売上高100億円達成に向け、電炉時代に対応する高品質スクラップ供給拠点、苅田港を活かした「鉄の再生ハブポート」で、2031年6月期までに売上高成長率年平均15.5%、を目指す。

課題

- ① マンガン0.4%以下の選別精度向上
- ② 最新設備導入による処理能力拡大
- ③ 安定した素材調達のサプライチェーン構築
- ④ 人材育成と地域との共創

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ① 3Dカメラ選別機の導入による形状識別精度の強化
- ② LIBSによる成分分析技術の実装
- ③ 大型二軸破砕機、高速シュレッダー導入による処理量強化
- ④ マグネット選別機による鉄以外の除去精度の向上
- ⑤ 福岡・中国地方の自動車メーカー・加工業者と連携強化
- ⑥ 港湾（苅田港）を活かした集荷・出荷ルートの整備と拡張
- ⑦ スクラップ再資源化に特化した実践型教育プログラム整備
- ⑧ 地域雇用の創出と若手人材への技術継承体制の構築

実施体制

- 代表が全体統括を担い、2026年内に大型破砕機、シュレッダー、選別設備（3DカメラまたはLIBS）を導入
- 2027年初頭に試運転・精度検証を実施。
- 2027年4月より本格稼働し、マンガン0.4%以下の高品質スクラップを安定供給。併せて人材育成・地域雇用も推進。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

高炉メーカーの電炉化に伴い、マンガン0.4%以下の高品質スクラップ「新断」需要が急増。弊社は自動車産業を中心とした主要発生地（福岡・愛知）と取引があり、新断を大量に扱う数少ない業者。本事業では、破碎機・シュレッダー・マグネット・LIBS等を導入し、高精度選別体制を構築。西日本最大規模の工業港湾の1つであり、3万トン級の船舶が入港可能な苅田港をハブポートとして活用、日本と海外、九州・中国地方への安定供給を実現、脱炭素社会に貢献。

併せて、再資源化が困難な「被覆鋼芯アルミ電線」の選別・分離リサイクル事業も展開。専用設備によりアルミと鋼芯を分離、非鉄・鉄原料として再供給し資源循環を促進。

いずれの事業も未利用資源の高度活用によって環境負荷低減と新たな収益基盤を確立する。

